



七小だより

平成29年 4月6日
国立市立国立第七小学校
校長 森田 弘文
NO. 1 4月号

心新たにチャレンジし、チェンジするチャンス！

校長 森田弘文

優しくおだやかな南風が吹き、ようやく花が咲き始めたサクラ。純白なユキヤナギ、紅色のハナモモ、黄色のナノハナ、薄紅色のサクラソウなど、四辺が春色に染まり心嬉しい季節の始まりです。

特にナノハナの群れ咲く姿は、遠目に眺めたほうが趣があるように思います。黄色い小花はごく平凡で特徴のないものですが、全体として見た場合には、風を黄色に染めてしまうような存在感もあります。鮮やかに咲いた花びらは、やわらかな光を浴び、光をはね返し、光と戯れているようで、やっと訪れた春のはなやぎが感じられます。

このような自然界の春の景観は、国立第七小学校に新しく入学する1年生を祝福しているようであり、また、在校生の一人一人の進級の喜びを詠い表しているようにも思われます。

平成29年度が始まり、新1年生51名を迎え全校357名の子供たちと共に、清新の息吹に満ちあふれ、新たな学校生活をスタートできた事を心より嬉しく思います。お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。心よりお祝いとお喜びを申し上げます。

さて、4月は新出発の季節。これまでの自分をより改め、今一步成長させ、新たな自分を発見してほしいと願っています。成長や発見のためには何が必要かと言えば、何事にもチャレンジすること、挑戦することであると思います。今まであまり自信のなかったことや苦手だと感じていたことにもチャレンジし自分をチェンジしていきましょう。自分を変革していきましょう。4月は何事にもチャレンジしチェンジするチャンスの時でもあると考えます。ここで、変革（チェンジ）と機会（チャンス）の言葉を英語で書き表してみましょう。何か気が付くことはないでしょうか。チェンジはChangeであり、チャンスはChanceです。とてもよく似ていると思いませんか。「g」と「c」が違うだけです。自分自身をチェンジし成長させていくのは、今のこの新学期こそ、そのチャンスであると思います。これまでできなかったことや、やり残したことにチェンジするチャンスだと思い、さらなる挑戦と努力にチャレンジして行ってほしいと願っています。心新たに自分自身を変革していきましょう。全校児童の皆さんの大いなる成長を心から楽しみにしています。これからもたくさん期待しています。

新年度、幸いにも異動とならず、国立第七小学校にて、かわいい子供たちやあたたかな地域の方々・保護者の皆様と、校長として職務に専念できる自分を大変嬉しく思い、心より感謝し喜びの思いでいっぱいであります。これまで至らぬ部分も多々あったと思い、深く反省もしており、後悔の念も強くあります。職責を全うするためにも、初心に戻り今後も教職員と共に教育活動に五体を地に投げ遍身に汗を流し、奮闘努力していく所存であります。

誰よりも一番に、子供たち一人一人の願いや思いを大切にし、心豊かな成長と確かな学力の伸長を目指し、深く祈り行動してまいります。また、保護者の思いに寄り添い、地域の方々と一致団結し安全・安心の学校づくりに邁進していきます。

本年度も、保護者・地域の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、重ねてよろしくお願いたします。



タチツボスミレ